

『土木と社会』セミナー

第一回 (10月19日) @ 西講義棟3階工学部第3講義室

「首都公務員の仕事」



ゲスト：
牟田口 千尋さん / 東京都都市整備局都市基盤部
 街路計画課課長代理

土木技術者として、首都東京で12年間駆け抜けてきました。公務員の仕事とはどんなものなのか？成長を続ける大都市東京で、土木技術者がどんな働きをしているのか？オリンピック開催に向けて、そして、その先の社会を見据えて、今どんな取組をしているのか？社会人となって行く皆さんの進路を決めていく、1つのきっかけとなるお話ができればと思っています。

第二回 (10月26日) @ 西講義棟3階工学部第3講義室

「バリアを体験してみる： 車椅子で坂道を上ったり下ったりしてみよう」



ゲスト：
樋口 明彦さん / 九州大学キャンパスバリアフリー
 検討研究会 会長

バリアの無い、インクルーシブな社会。そうした社会についての講義を高校や大学一年生の時に履修した人も多いと思います。バリアがないのが理想ですが、さて現実には？ 九大にたくさんあるバリアの一つ「坂」が、障がいのある人にどれだけ深刻なバリアなのかを体験してみましょう。一度教室に集合してから、W3号館前のスロープに移動します。

第三回 (11月2日) @ 西講義棟3階工学部第3講義室

「サーキュラーエコノミー時代の持続可能な資源循環を考える」



ゲスト：
高橋 宏和さん / 有限責任監査法人トーマツ
 リスクアドバイザー事業本部
 マネジャー

欧州におけるサーキュラーエコノミーに関する施策パッケージの発表や海洋ごみ問題など、資源循環に関連する最近の海外の動きを受けて、我が国の取り組みにも大きな変化が起こりつつあります。今回は、私がこれまで取り組んできたことを絡めながら、このテーマに取り組む意義や土木との関わりについてお話しさせていただきます。

第四回 (11月9日) @ 西講義棟3階工学部第3講義室

「水辺の生き物を守っていくために必要なこと」



ゲスト：
中島 淳さん / 福岡県保健環境研究所 研究員

現在、人間活動と生物多様性保全の両立をどのようにして図っていくのかは、世界的にも大きな課題になっています。特に河川を中心とした湿地帯には多種多様な生き物が生息しており生態系保全上とても重要な場所ですが、その一方で治水や利水を目的とした人為的な環境変化が激しい場所でもあります。そのため、特に身近な湿地帯で暮らす生き物の多くは絶滅が危惧される状況に陥っています。そこで本講義では九州の河川とそこに暮らす生き物の特徴を解説するとともに、現在、それらの生き物を守っていくためにどのようなことが実際に行われているのかを紹介いたします。私たちの身近で暮らす湿地帯の生き物のことに、少しでも興味関心を持ってもらえればと思います。

第五回 (11月30日) @ 西講義棟3階工学部第3講義室

「教えてください。縮む社会の国造り。」



ゲスト：
柴草 哲夫さん / 株式会社日本設計エリアデザイン部
 シニアマネージャー
 (2018年10月31日まで)

私たちの暮らす「日本」と言う国は、2010年の1.28億人をピークに人口が減り始めました。国立社会保障・人口問題研究所の推計では、2030年に1.19億人(8.3%減:中位推計)になると予測されています。今後日本の人口が増えることはありません。このあたりのお話をスタートに、私に関わっている都市計画・建築界隈で起きていることとお話したいと思います。その上で、皆さんの描くこれからの国造り(創り?)について意見交換できればと思っています。

第六回 (12月7日) @ 西講義棟3階工学部第3講義室

「投資・事業開発の現場を垣間見る」



ゲスト：
植村 崇博さん / 三井物産株式会社
 エネルギー 第一本部
 Energy&Innovation 部

「出資参画」、「事業会社設立」、皆さんも新聞やニュースでこのような言葉を目にしたか耳にしたことがあるのではないのでしょうか。一方、工学系の学生の皆さんにとってはあまり馴染みがない話題で、見聞きしても漠然とした理解しか得られないことも多いかと思いますが。私は、現在、エネルギー分野の新規事業開発業務を通じて将来の収益力向上を目指す日々を送っています。本講義では、投資や事業開発の現場について私の経験を元にご紹介し、皆さんが企業に関するニュースをより身近に感じるきっかけとなればと思っています。

第七回 (1月11日) @ 西講義棟3階工学部第3講義室

「社会と土木と私」



ゲスト：
許斐 信亮さん / 日本工営株式会社 福岡支店
 技術第一部都市地域整備グループ
 主任

都市計画、地域計画、交通計画など、主に自治体の計画づくりの仕事をしています。計画分野は「土木」といっても、求められる知識や技術は非常に幅広く、まさに「社会」とつながっているように感じます。「土木」出身の私が、計画分野という仕事をする中で感じてきたこと、考えてきたことをもとに、これからの「土木」と「社会」の関係について一緒に考える機会としましょう。

第八回 (1月25日) @ 西講義棟3階工学部第3講義室

「すみよい今津をつくる」



ゲスト：
中村 隆暢さん / すみよい今津をつくる会顧問、
 今津財産組合 副理事長

カブトガニの保護や人形浄瑠璃の継承で知られる福岡市今津。氏は、代々、この地の農家で、近年は九州大学と地域の連携に尽力されてきた。キャンパス開発時の周辺農村での合意形成、水や道路などの開発、など地元側を代表して対応された。地域の歴史と自然に詳しく、開発経緯の継承や防災について、特に昭和28年の大水害時の伊都キャンパス周辺の浸水事例などを若者に伝える機会としたい。

会場：西講義棟3階工学部第3講義室にて開催します。
 時間：すべての回で、午後1:00-2:30
 このセミナーは地球環境工学科建設都市工学コース2、3年生を対象としています。どなたでも入場・聴講することができます。

問い合わせ先：
 建設都市工学コース事務局 (W2号館3階 内線3366)